

こころとからだのしくみ

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 稲田 弘子

■使用テキスト

介護福祉士養成講座編集委員会（編集）
『最新 介護福祉士養成講座11巻 こころとからだのしくみ』第2版 中央法規出版

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

「介護が必要な状態」とは、「こころ」もしくは「からだ」に何らかの不自由（障がい）を抱えているがために生活に支障のある状態といえます。介護実践の根拠となる、人間の心理や人体の構造・機能を理解したうえで、介護サービスを提供するにあたり、安全への留意点などについての知識を学びます。(DP3.5)(CP3)

到達目標

- 1) 人体の部位の名称、構造、機能について説明できる。
- 2) 各器系の構造と機能を理解し説明できる。
- 3) 高齢者に多い疾患や生活習慣病、代表的な難病、遺伝性疾患について理解する。
- 4) 介護実践に必要な、移動、身じたく、食事、入浴・保清、排泄、休息・睡眠、終末期に関連したこころとからだの知識を理解する。

実務経験のある教員による教育

科目担当者は保健師、看護師の有資格者として、5年以上の実務経験に基づき、その経験を通し「こころとからだのしくみ」に必要な知識、技術、価値について添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 こころのしくみを理解する

この章のポイント

本章ではこころのはたらきやしくみなど、心理学的な側面から心身の理解を深めます。人は何を持って生活に快適さを感じるのか、どうして不安や心配を感じるのかなど、基本的欲求や社会的欲求などを理解します。

第2章 からだのしくみを理解する

この章のポイント

生活支援のためには人間のからだについての基礎知識が必要です。この章では人間のからだの解剖や生理的機能、からだの働きのメカニズムを学びます。

第3章 移動に関連したところとからだのしくみ

この章のポイント

移動は身体機能やQOLの維持、向上と直結しています。本章では、人が移動することの必要性やその効果について学びます。また、移動するためのからだのしくみと移動能力が低下する原因を学びます。そのうえで、移動能力を保つためには普段から何に留意すればいいのか、移動能力が低下した場合にはどう対応すればいいのかを学びます。

第4章 身じたくに関連したところとからだのしくみ

この章のポイント

身じたくは、一日を始めるという、最初の生活行為となります。身じたくを整えるということは、人が人として、社会とかかわるうえでの重要な自己表現です。介護者はその人の立場に立ち、その人なりの自己表現を維持してもらうために必要な援助を行うことが重要です。本章では、身じたくに関連したところとからだのの基本を学びます。

第5章 食事に関連したところとからだのしくみ

この章のポイント

食事は、栄養素をからだに摂り入れ、エネルギー源に変換したり、生態を構成する元となったり、生体内の各種の化学反応に用いられると、活動や生命を維持するために必要とされる最も基本的な日常生活行為です。本章では食事のしくみ・あり方や、心身の機能低下との関係、観察事項などを具体的に学びます。

第6章 入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみ

この章のポイント

「生活するひと」の側面から、入浴・清潔について考え、一人ひとりの心身の状況に応じた最も望ましい方法と提供される支援技術について学びます。

第7章 排泄に関連したところとからだのしくみ

この章のポイント

排泄は、生きるために欠かせない基本的欲求です。本章では、尊厳を守り、異常に気づくために必要な排泄の正常と異常について学びます。

第8章 休息・睡眠に関連したところとからだのしくみ

この章のポイント

休息・睡眠は、生きるために欠かせない基本的欲求です。また、日常をリフレッシュさせ、活力ある日常生活を送り、QOLを高めるには欠くことができません。本章では、休息・睡眠の意義やしくみ、加齢が休息・睡眠に及ぼす影響を学びます。

第9章 人生の最終段階のケアに関連したところとからだのしくみ

この章のポイント

人にとって死は避けられません。死には生き方そのものです。その人の価値観を尊重し、死を迎えられるように支援しなくてはなりません。本章では、尊厳を守り、「死」に向き合う人の心理状態を理解するとともに、終末期からの危篤状態、死後のからだの理解について学びます。